

南山大学 人間関係研究センター春の公開講演会（無料）

「会社が変わる」人間関係 その実例とポイント

2004年5月27日（木） 午後7時から9時

南山大学名古屋キャンパス D棟5階 D51教室

従来は、企業という組織の中には、「利潤追求がすべてである」という、経営者にとって都合のよい価値観しか存在しえなかったように思います。そこには、「仕事というものは苦しいからこそ給料がもらえる」「がまんも仕事のうち」といった考え方が当たり前のように語られる世界がありました。そういう環境では、人と人の関係性の問題は、経営者にとって都合のよい方向でしか扱われていなかったのです。

しかし、時代が変わり、働く人が生き生きとしていなければ、その結果としてお客様にも満足はしてもらえない、という事実を理解できる人が経営者の中にも増えてきました。社員「生きがい」「働きがい」というのは、決して報酬だけで充足できるものではないのです。人から認められることや、チームを組んでお互いに助け合いながら仕事ができることなどは、非常に大切なファクターです。人と人の関係性を変えていくことが会社の利益を生んでいく、という当たり前といえれば当り前の構造が少しずつ定着しつつあるのです。

講師：株式会社スコラ・コンサルト 代表 ^{しば} ^た ^{まさ} ^{はる} 柴田昌治氏



1983年にビジネス教育の会社を設立後、企業の風土・体質問題に目を向けて変革支援を始める。アングロサクソンの経営理論に拠るやり方ではなく、人が互いに協力し合い、仲間として仕事をする日本的経営の強みを大切にする、というのが基本姿勢。文化・風土といった人のありようの面から企業変革に取り組む「プロセスデザイン」というやり方を実践の中で結実させてきた。今ここにある現実から物事を考え、自分の言葉で話をするにこだわるがゆえに「やまとことばで話す」が口ぐせ。

著訳書=『なぜ会社は変わらないのか』トヨタ式最強の経営(共著)、『フィールドブック 学習する組織「5つの能力」(監訳)』(以上、日本経済新聞社)、『会社を変える「日本式」最強の法則』(ダイヤモンド社)、『40歳から会社で何をするかどうするか』(講談社)、『ドイツ教育史』(共訳、シュブランガー著、明治図書)などがある。

協賛 南山エクステンション・カレッジ

～ 参加費は無料となっておりますが、準備の都合上、ご参加の場合は下記までご連絡下さい。～

南山大学 人間関係研究センター 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

TEL : 052-832-5002

・E-mail : ninkan-c@nanzan-u.ac.jp

FAX : 052-832-3202

・Homepage : <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

Fax、E-mail の場合は「氏名」、「人数」、「連絡先 (E-mail 又は電話番号)」をお知らせください。